



## 中学生プロデューサーとつくる「こどもの日コンサート」 2026年は“タイムトラベル”と“踊り”を組み合わせた心躍るプログラム



©藤本史昭

横浜みなとみらいホールでは、2026年5月5日(火・祝)に毎年恒例の「こどもの日コンサート」を開催します。本公演は、子どもたちにオーケストラの壮大な音色を楽しんでいただくことを目的に2000年より開催しています。2021年からは子どもたちが公演制作を通して社会活動を学ぶ場の作ることを目指した、“中学生プロデューサー”の取り組みがスタート。今年度は22名が参加し、準備から公演当日の運営まで携わります。今回の公演のテーマは“時を超えて音楽とおどろう♪”。神奈川フィルハーモニー管弦楽団と児童合唱、パイプオルガンの共演で、中学生が選曲した様々な時代の心躍る名曲の数々を、タイムトラベルのように辿るプログラムをお贈りします。中学生プロデューサーたちの若い感性と新鮮なアイデアが光る、この日限りの公演にご期待ください。

### ■事業概要

名称	こどもの日コンサート 2026
会場	横浜みなとみらいホール 大ホール
日時	2026年5月5日(火・祝) ①13:00~14:00(12:20 開場)、②15:30~16:40(14:50 開場)
出演者	阿部未来(指揮)、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、近藤 岳(パイプオルガン) 岩崎里衣(司会)、赤い靴ジュニアコーラス・横浜少年少女合唱団
曲目	A.シルヴェストリ：映画《バック・トゥ・ザ・フューチャー》 J.S.バッハ：小フーガ ト短調 BWV 578 ※オルガン独奏 ヨハン・シュトラウスII：美しく青きドナウ ※合唱付き 【みんなでポディパーカッション！】チャイコフスキー：《くるみ割り人形》組曲より〈トレパーク〉 こどもの日コンサート 2026 オリジナルメドレー 他
料金	全席指定 一般 3,000円 [1回目公演]3歳~高校生/[2回目公演]4歳~高校生 1,500円 ★1回目公演限定：0~2歳 60名限定 無料(要事前申込・エリア指定有/定員に達し次第受付終了)
申込	横浜みなとみらいホールチケットセンター ☎045(682)2000 (電話 10:00-17:00/窓口 11:00-18:00 ※休館日・保守点検日除く)

主催=横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団) 後援=横浜市教育委員会  
協力=神奈川フィルハーモニー管弦楽団、京セラ株式会社 みなとみらいリサーチセンター

※当事業の取材・情報掲載をお願い申し上げます。情報掲載の際はお手数ですが事前にご一報ください。

このプレスリリースに関するお問合せ \*本日は17:15まで在席しております。

横浜みなとみらいホール (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-3-6 ☎代表：045(682)2020(9:00-18:00)/広報直通：045(682)2025 pr\_mmh@yaf.or.jp

広報担当：藤井聡子、飯島玲名、松本 董 事業担当：絹見祐佳里

## 本事業の注目ポイント

### 1. オーケストラの迫力ある演奏を体感！長年続く名物コンサート

2000年にスタートした「こどもの日コンサート」は、**神奈川フィルハーモニー管弦楽団**の生演奏、そして児童合唱やパイプオルガンの音色を楽しめる機会として、毎年好評をいただいています。クラシックやポップスなど多彩な選曲や参加型コーナーを含めた構成で、家族みんなで楽しめるコンサートです。コンサートの鑑賞機会が少ない未就学のお子さまから来場できることも大きな魅力の一つです。



出演は、2025年に続き2015～2019年に神奈川フィルの副指揮者を務めた**阿部未来**の他、横浜みなとみらいホールホールオルガニストの「こどもの日コンサート」昨年の様子 ©藤本史昭  
**近藤 岳**、司会の**岩崎里衣**、そして横浜を拠点に活動する**赤い靴ジュニアコーラス・横浜少年少女合唱団**でお贈りします。

### 2. 若い感性が光る“中学生プロデューサー”たちの活躍

“中学生プロデューサー”は、公募で集まった中学生が、ホールスタッフをはじめとするプロと共に、選曲や広報活動などの事前準備、さらには当日の会場運営やお客様のおもてなしまで、公演制作に関わるあらゆる仕事に携わる当ホール独自の取り組みです。



本番までひととおりの制作業務を経験した後は、有志のメンバーが翌年の公演の企画立案に携わるサイクルが生まれており、今年の公演のテーマや曲目も、2025年度の参加メンバーが考案したものです。

また、中学生プロデューサーのアイデアから、来場者参加型コーナーや、中学生自らが演奏する開演前のロビーパフォーマンスなど、来場者に公演をより楽しんでいただく様々な企画が生まれました。公演の中では中学生プロデューサー自らがステージに立ち、コンサートを盛り上げる場面も。



中学生プロデューサーの活動 ©藤本史昭

今回は**総勢 22 名**のメンバーが参加。2025年12月から2026年5月の本番、そして振り返りの会を含む計10回の活動に取り組みます。中学生ならではの新鮮な感性が光る公演とその活躍にもご注目ください。

### 3. 子どもも大人も楽しめるバラエティ豊かなプログラム

クラシックの名曲から流行のポップス曲まで、様々なジャンルの楽曲をオーケストラの音色で楽しむことができることも本公演の魅力の一つです。

今年は“**時を超えて音楽とおどろう♪**”をテーマに、バロック時代から現代まで、様々な時代の心躍る名曲の数々を、タイムトラベルのように辿ります。壮大なわくわくするメロディーで子どもから大人まで人気の《**バック・トゥ・ザ・フューチャー**》や、誰もが一度は耳にしたことのある**ベートーヴェンの名曲《運命》**など、音楽のジャンルを超えたプログラムは「こどもの日コンサート」ならではの。また、毎年盛り上がる参加型コーナーは、**チャイコフスキー《くるみ割り人形》組曲より〈トレパーク〉**を、自身の身体を叩いてリズムを奏でるボディパーカッションでお贈りします。

中学生から募集した楽曲から中学生プロデューサーが悩みながら選曲した**〈こどもの日コンサート 2026 オリジナルメドレー〉**は、毎年恒例の注目プログラム。どのような楽曲が演奏されるかは当日のお楽しみです。